

目次

序章 業務の背景と目的	1
0-1 業務の背景	1
0-2 業務の目的	1
第1章 小国町のまちづくりの流れと横川ダム	2
1-1 白い森構想における横川ダム周辺の位置付け	2
1-2 ダム湖周辺地域のこれまでのまちづくりへの取り組み	3
1-2-1 東部地区のむらづくりの歴史	3
1-2-2 横川ダムに関連するこれまでのまちづくり構想	5
第2章 水源地域周辺の現状と課題の整理	10
2-1 水源地域周辺の現状を示すキーワードと情報の整理	10
2-1-1 水源地域周辺の特徴	10
2-1-2 ダム上流地域の集落機能の現状	17
2-1-3 個別ヒアリング調査結果	20
2-2 地域づくりの現状と課題	22
2-2-1 東部地区住民の地域づくりに対する活動の変化	22
2-2-2 ダムと周辺環境を活かした今後の東部地区の地域づくり の課題と可能性	22
2-3 水源地の利活用に関する事例	24
2-3-1 大石ダム	24
2-3-2 白川ダム	27
2-3-3 奥三面ダム	31
2-3-4 漁川ダム	35
第3章 資源特性を活かした水源地域活性化の可能性検討	38
3-1 小国町全体のまちづくりからの視座	38
3-1-1 まちづくりの5つの柱	38
3-1-2 横川ダムを活用した事業展開がまちづくりに 与える影響	40

3-2 東部地区の「集落機能」の維持・保全からの視座	45
3-2-1 東部地区の集落機能の維持保全に対する課題	45
3-2-3 ダムに関連する事業展開が集落機能の維持・保全 に与える影響	46
3-3 東部地区の未来の夢実現のために	47
3-3-1 取り組むべき課題	47
3-3-2 実現のための活動方策	52
3-4 地域資源の保全と有効活用のあり方	54
3-4-1 自然資源の保全と活用	54
3-4-2 人文資源の活用	55
3-4-3 特産品や伝統技術の活用	56
第4章 横川ダムを活用した地域活性化の具体的方向	58
4-1 ダム湖及び周辺資源を活用した多面的交流事業推進のあり方	59
4-1-1 ダム湖及び周辺整備箇所を活用した交流事業 推進の視点	59
4-1-2 四季が織りなす地域の自然と人の暮らしを活かした 交流事業推進の視点	63
4-1-3 ダム上流地域における集落間連携・協力体制の 再構築の視点	64
4-1-4 ダム湖周辺資源を活用した地域活性化と まちづくりへの視点	65
4-1-5 町全体あるいは町域を超えた地域交流の視点	68
4-2 多面的交流事業の推進等地域活性化のための 人材育成と確保	69
4-2-1 ダム湖上流地域の地元住民の意見	69
4-2-2 地域活性化のための人材育成のあり方	71
4-2-3 具体的なダム湖周辺地域活性化への人材育成と確保	72

第5章 横川ダム水源地域ビジョンとまちづくりで目指す	
方向性への提言	74
5-1 「湖畔の森ふれあいゾーン」の機能のレベルアップ	74
5-1-1 「湖畔の森ふれあいゾーン」の機能	74
5-1-2 レベルアップにつながる活動メニューの検討	74
5-2 東部地区の集落機能の維持・保全につながる	
活動メニューの展開	77
5-2-1 集落機能の維持・保全につながる活動メニューの検討	77
5-3 他の拠点エリアとの連携	80
5-3-1 ふな文化の継承	80
5-3-2 森林セラピー基地の機能補填	80
5-3-3 食文化の継承と商品化	81
5-3-4 人材の連携	81
5-4 まちづくりを横軸で支えていく活動メニューの構築	82
5-4-1 「森の学校」の機能づくり	82
5-4-2 「森の仕事場」の創出と活性化機能づくり	83
5-4-3 「森の住宅」環境づくり	83